

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス くくる岡崎		
○保護者評価実施期間	令和8年6月11日		令和8年7月14日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和8年6月11日		令和8年7月3日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和8年7月23日		

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	・多機能の事業所であることからお子さんの成長を点ではなく線で捉えることができること。 ・長期的な見通しを持ち目標を立てたり、何をどこまでできるようになるといいか目安が持てること。	・それぞれの支援内容や今までの積み重ねを共有しながら少し先を見た関わりが持てるようにしています。	・背伸びしすぎず、何度も繰り返しながらお子さんの力になるよう取り組みたいと考えています。
2	・作業療法士が在籍しており、保育士をはじめ様々な専門的な視点からお子さんへアプローチできること。	・集団、個別ともに活動内容に偏りが出ないよう専門職と保育士で話し合いを行っています。	・それぞれの専門性を生かしながら今後も取り組んでまいります。
3	・		

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	事業所の目の前が交通量の非常に多い道路に面しており、事業所への車の出入りはもとより、お子さんの乗降に危険が伴うこと。	交通量が多い事や、事業所の駐車場で向きを変えたりする車両も時々見られる。	車の出入りについては、一人職員が入れてもらえるよう対応したり、お子さんの乗降の際は、待機職員が必ず外に出て車と入口の動線の確保を行っています。お子さんの移動の際は必ず手をつなぎ、職員同士、声をかけあい危険のないよう、また事故に繋がらないよう対応しています。
2	外部との交流が少ないこと	多機能であることから事業が多岐にわたり、あまり積極的には動いていない。	今後は他事業所との交流ができるよう、また地域の方々とも触れあう機会が持てるよう計画を立てていきたいと考えております。
3			

公表

保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名 放課後等デイサービス くくる岡崎

公表日 令和8年7月23日

利用児童数

9名

回収数

8

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	7			1	広いスペースがありとてもいいと思いま す	落ち着いて過ごせるよう環境を整えており ます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	6			2		利用人数に合わせて職員の配置をしており ます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いま すか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や 情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	6			2		お子さん一人一人に合わせ、わかりやすく 安心できる環境づくりに努めていきます。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。 また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	7	1				
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援 が受けられていると思いますか。	8					
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合 っていると思いますか。	8					
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分 析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されて いると思いますか。	8					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「 放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」 、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設 定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	7			1		
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	8					
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いま すか。	8					
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会 がありますか。		1	3	4		地域のB型就労支援事業所にお邪魔しまし た。今後も他事業所との交流を含め検討し ていきたいと思っています。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等につい て丁寧な説明がありましたか。	7	1				
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされま したか。	7	1				
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング 等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	3	1	4			必要に応じて情報共有や相談等にて対応し てまいります。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状態に ついて共通理解ができていると思いますか。	7	1				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	7	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	8					
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流 の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだ い向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けら れるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	1	1	4	2		今後検討してまいります。
	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されてい るとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知 ・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか 。	7			1		窓口を設けており、その際は迅速に対応で きるよう努めてまいります。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると 思いますか。	7	1				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制 等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信さ れていますか。	7			1		ホームページで公表しております。

	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	6			2		個人情報については適切な管理と取扱いに留意してまいります。
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	7			1		今後おたより等で周知できるよう検討してまいります。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	8					
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	7			1		安全計画に基づき委員会に置いて話し合い検討をすすめて居ります。どのように周知していくか考えてまいります。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1				
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	8					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	8				とても楽しそうです。	今後もお子さんが安心して楽しく通っていただける事業所であるよう努めてまいります。
	29	事業所の支援に満足していますか。	8				いつもありがとうございます。	お子さん、ご家族が安心してご利用いただけるよう職員一同力を合わせて支援していきけるよう努めてまいります。

公表

事業所における自己評価結果

事業所名		公表日 令和8 年 7 月 23 日				
放課後等デイサービス くくる岡崎						
		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		活動内容によって部屋を使い分けており、十分なスペースを確保しています。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		毎日の清掃、消毒、換気により清潔な空間づくりに努めています。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	○			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		○		第三者による評価を行いたいと思っていますが、具体的な動きにはつながっていません。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内で研修を開催する機会が確保されているか。	○		毎週金曜日を研修の日とし、安全運転講習等社内研修を行っています。また外部研修にも積極的に参加しています。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		ホームページで公表しています。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	○		日々の様子や面談等でうかがった内容を職員間で共有し個別支援計画を作成しています。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		モニタリング会議を行い児発管をはじめ、専門職も交えて話し合いを行い、計画を作成しています。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間で共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		1か月の活動内容を専門職も含め、職員間で話し合いおたよりで周知しています。様々な活動に参加できるようにしています。	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○		変化に弱いお子さんもみえます。活動に参加できなくても見るところから始められるよう関わっています。	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	○		専門支援の中で集団、個別の支援を織り交ぜて対応しています。利用されるお子さんに合わせて行っています。	

	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	朝の打ち合わせで、活動内容、送迎、役割等確認しています。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	送迎が長引く等で難しい日もあります。その際は翌日必ず報告等行うようにしています。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	日誌にその日行ったことを記載しています。支援内容等振り返りを行い見直しと、その後の対応を改善できるよう話し合っています。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	計画更新前に必ずモニタリング会議を行い職員間で話し合いの場を設けています。	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせず支援を行っているか。	○		
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	○	利用されるお子さんの意思に少しでも添えるよう努めています。選択が難しい子も見えますが自分で選べるよう支援を重ねています。	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○		
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	地元の小児科医の協力を得ています。	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	○	保護者からの連絡等で送迎時間の調整を行っています。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	○		
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	○		対象となる利用されるお子さんがいません。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	○		
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	○		
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	○	児発管が主に参加しています。	
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	○	面談や送迎時にお子さんの様子をお伝えしたり、話を伺いながら様子の把握に努めています。	
保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○		今後講習会等案内があれば、情報共有を行っていききたいと思います。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	契約の際に児発管から説明を行っています。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	ご本人に確認することは難しいが、ご家族からご希望やお気持ちをうかがうことで対応させて頂いています。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	○		
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○	その都度お話を聞きする時間を設けております。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		実施に至っていません。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○	契約時に苦情の窓口を周知しています。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	○	毎月おたよりを配布しています。	

	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○			
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		各種マニュアルを作成し、事業所内で職員の訓練を行っています。	ご家族への周知に至っていない部分もあるためおたより等でお知らせする等機会を設けていきたいと思います。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		地震、火災等想定した避難訓練を定期的に行っています。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	○		契約の際ご家族から様子をうかがい服薬状況の把握をしています。	今後も定期的に状況把握、確認を行っていきます。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		現在アレルギーのあるお子さんはいませんが、今後必要となれば対応していきたいと思います。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		安全計画に基づいた研修を実施、また周辺危険個所の確認、事業所内の破損個所等がないかなどその都度確認しています。	
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		委員会を行い、事業所全体で共有、また職員会でも報告、話し合いを行っています。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		虐待、身体拘束の研修を全職員に実施し意識の向上を図っています。	
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	○		現在身体拘束に至る児童はいません。	